

美しい多摩川フォーラム・第1回運営委員会議事録

日 時 : 平成27年11月10日(木)15:00～16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 森田 昇 青梅信用金庫 理事長
顧 問 永田 俊一 楽天銀行(株) 取締役会長
委 員 蛭間 浩之 東京都西多摩建設事務所 管理課長
橋本 昌明 青梅市 建設部 計画調整担当 主幹
岸田 学 日の出町 産業観光課 係長
石橋 克己 大田区 都市基盤整備部都市基盤管理課臨海部基盤担当係長
佐藤 浩二 立川商工会議所 会頭
古屋 圭子 京王電鉄(株)広報部長
木村 康雄 東京都森林組合代表理事組合長
小野木 喜博 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事事務局長
渡邊 勇 青梅子どもの水辺協議会会長
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館 館長
堤 香苗 (株)キャリア・مام 代表取締役
栗原 秀二 (社)大多摩観光連盟専務理事
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長
馬場 真人 近畿日本ツーリスト(株)首都圏西団体旅行支店 課長
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会 総務部長
江沢 伸一 (株)はとバス観光バス事業本部 定期観光部 副部長
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 栗原 洋三 大田観光協会事務局長
澤田 實 東京シティガイド

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)美しい多摩川フォーラム事務局・新設ポストへの選任等について

(資料 1)多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業(桜ウォーキング)

(資料 2)東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

(資料 3)第4回・多摩川“水”大学講座開催

(資料 4)東急百貨店「第6回・ココエコチャリティー」実施

(資料 5)第43回・調布市環境フェア出展

(資料 6)第8回・多摩川一斉水質調査実施

(資料 7)美しい多摩川フォーラムの森(青梅)第3回・下刈りイベント

(資料 8)多摩川っ子(第8号)発刊

(資料 9)粕江古代カップ「第25回・多摩川いかだレース記念大会」参加

(資料 10)第8回・子どもカヤック体験教室開催

(資料 11)「東北・夢の桜街道推進協議会」平成27年度総会開催

- (資料 12) 東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業企画案採用決定
- (資料 13) 多摩川 1 万人の清掃大会参加
- (資料 14) 第7回・炭焼き体験と水辺の交流会開催
- (資料 15) 第3回・大人のカヤック体験教室開催
- (資料 16) 第2回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて
- (資料 17) 第2回・美しい多摩川フォト教室開催
- (資料 18) 東急百貨店より第6回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈
- (資料 19) 第8回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催
- (資料 20) 「東北・桜サミット開催」に関する記者発表、「東北・桜サミット」開催
- (資料 21) 大田区より第8回・寄付金の贈呈
- (資料 22) 第7回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催
- (資料 23) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム開催
- (資料 24) 御岳・冬物語開催
- (資料 25) 森里川海シンポジウム in 羽村

1. 開会（運営委員会成立の確認、資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成27年度第1回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて53名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。始めに「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日はボサノヴァ・バージョンでお聞き下さい。次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

（日の出町 産業観光課 係長 岸田 学 様）

皆さん、はじめまして。岸田と申します。本日は、日の出町長の橋本の代理として出席いたしました。日の出町は、日の出山の麓を源流とした平井川が流れています。約20キロの行程を流れた後、多摩川に合流します。観光にも力を入れるように町長から言われておりますが、なにぶん多摩川と秋川に囲まれた場所であり、いささか苦戦しております。皆様のお力をお借りしながら、今後、観光振興に務めてまいりたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

（東京都森林組合 代表理事組合長 木村 康雄 様）

皆さん、こんにちは。木村と申します。5月23日の総代会において、組合長に選任されました。我々は、山主さんたちの森林をいかに守るかが宿命であると考えております。多摩川

に美味しい水を供給しているのも山であります。従い、山が荒れると水も美味しくなくなりま
すので、今後、多摩川フォーラムを通じて、皆様のご意見を伺いながら、山の整備を進め
たいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(公益財団法人東京市町村自治調査会 総務部長 永尾 昌文 様)

皆さん、こんにちは。永尾と申します。東京都には39の市町村があります。我々の団体
は、これら市町村の総意に基づいて設置された、自治体シンクタンクです。私の本籍は、東
京都の職員で、東京都庁に在籍しておりました。私の部下は、各市から派遣されています。
39の自治体の色々な現状について調査研究しております。今日は、常務理事の岸上の代
理で出席しました。多摩川フォーラムでは、ユニークで積極的な取り組みをされていますの
で、色々と勉強させていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

(株式会社はとバス 観光バス事業本部 定期観光部 副部長 江沢 伸一 様)

皆さん、こんにちは。江沢と申します。多摩川フォーラムに参画して5年が経ちます。弊
社では都内を中心とするバスツアーをやっておりますが、多摩川フォーラムのエンブレムを
付けた商品を作り始めて5年になります。御岳やあきる野など、非常に魅力的な商品がどん
どん出来ております。また昨年からは、「多摩川酒蔵街道」に関する商品にも取り組み始め、
非常に魅力的な商品を造成することが出来ています。我々観光事業者は、観光地を作るこ
とは出来ませんが、出来ることは、観光資源を守り育み、編集加工して情報発信して商品
を売って、沢山のお客さまに訪れていただくことです。この度運営委員会に入らせていただき
ましたので、多摩川フォーラムの活動の発展に協力していきたいと思いますので、よろしく
お願いいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。今日は沢山の資料がありますので、定刻通りに会議が終了するようご
協力をお願いいたします。多摩川フォーラムは、あと2年経つと10周年になります。4年目
の時に東日本大震災がおこりました。我々の力はそれほどないのですが、東北復興のため
に何か力を貸したいという想いで、東北・夢の桜街道推進協議会を作りました。先日、山形
県で協議会主催の「東北・桜サミット」を開催してきました。詳細は後ほど事務局から説明が
あると思いますが、その時にどういう話が出たかと言うと、震災前の国内観光客数は80%戻
ったが、外国からの観光客数は18%にとどまっているそうです。全国には外国人観光客が
1500万人もいるのに、厳しい数字です。我々もなお一層東北復興のために運動を進めて
いかなければなりません。まずは我々の足元を固めるという意味でも、フォーラムの10周年
記念事業をどうするか、皆様のご意見をいただきたいと思います。それでは、美しい多摩
川フォーラム平成27年度の第1回運営委員会を始めます。事務局から経過報告をお願い

します。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度上期の活動報告につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。それでは、その中から特に(7)番、(11)番、(16)番の3つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業(桜ウォーキング)【資料1】

- ①4/2: 羽村取水堰と玉川上水～美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守
- ②4/7: 南浅川桜並木と陵南公園&高尾・多摩森林科学園～美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守
- ・ 【資料1】をご覧ください。今年もリビング多摩様と連携し、くにたち桜守の大谷和彦さんをガイドに迎え、桜のガイド付ウォーキングを4月2日に実施しました。毎年恒例の「駅からハイキング」は、JR東日本様の事情により中止となりましたが、当フォーラムでは、羽村市様、福生市様と連携し、「玉川上水・多摩川沿いの満開の桜を巡り、途中で田村酒造場を見学し、地酒の試飲ができる」という人気の桜ウォーキングを継続実施しました。参加された皆さんは“桜”と“お酒”を十分堪能されました。また、翌週7日の桜ウォーキングについては、今年も多摩森林科学園の吉丸前園長さんのご協力により、事前に桜のミニ講座を実施し、桜の知識や見所について丁寧に解説していただきました。お天気は雨模様でしたが、大変充実したイベントになりました。

(3) 多摩川“水”大学講座(5/22、6/19、7/17、9/18、10/16)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。4年目となる今年度は、八王子市様との共催のもと、5月22日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。本件につき、小倉副会長より一言お願いします。

(小倉副会長)

今月の11月20日で本講座が終了します。毎回20名程度が出席し、感想文を毎回書いてもらっていますが、大変貴重なコメントをいただいています。八王子市の職員の方も毎回出席していただいております。私自身も楽しみながら講座を開催しています。

(7) 第8回・多摩川一斉水質調査実施(6/7)※【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。6月7日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が纏まりました。裏面のマップをご覧ください。右下にある、マップ使用に当たっての承認番号がまだ決まっていないのは、従来使用していたマップが今年度改正されたことに伴い、新しいマップの使用を申請しているためで、未定稿としてご覧いただければと思います。なお、国土地理院より承認が下り次第、マップを確定し、会員の皆さんに配付する予定です。本件につきまして、小倉副会長に一言お願いします。

(小倉副会長)

マップの裏面を見ていただきますと、多摩川流域全体で404地点が調査されました。主な本川の経年的傾向ですが、2004年から大きな変動はありません。マップの表面をご覧くださいと、中・下流で赤いマークがありますが、採水を川の流れのない端で採取してしまったというコメントもあります。多摩川フォーラムとしては8回目、全国一斉調査としては12回目となっています。来年も継続して実施する予定です。

(事務局)

有り難うございました。水質調査結果レポートの次ページをご覧ください。これは、6月に実施した多摩川一斉水質調査の濁度、色度について、まとめた資料になります。資料をとりまとめられた渡邊部会長に簡単にコメントをいただきたいと存じます。

(渡邊部会長)

今まで測定してきたのはCODや電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンですが、今年初めて濁度と色度を測定しました。川の環境基準に入っていませんが、今回初めて測定しました。水が濁ると太陽の光が川の底まで十分に届きませんので、非常に重要な測定項目です。色度については、有機物があるとフミン酸が入り、川の色が緑がかったり黄色がかったりします。下流に行くに従って、多少数値が高くなっています。今後も続けて検討していきたいと思います。

(8) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/29)

- ・ 青梅信用金庫では、本年4月から5月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期預金」を販売し、募集総額20億円の0.01%に当たる20万円の寄付金の贈呈を6月29日に受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

(13) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成27年度総会開催(7/22 青森県)【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。本年7月22日、平成27年度総会が青森県青森市で開催

され、平成27年度も、当フォーラムからの拠出金が2,000,000円に決定しました。

(14) 東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業企画案採用決定(7/30)【資料 12】

- ・【資料12】をご覧ください。東京都では、2020年に向け、観光で盛り上げたいという意向がありますが、区部では宿泊先に対してお客様が既にオーバーフローの状態にあり、溢れたお客様を東京全体で如何に還流させていくかという問題があります。そこで東京都では、多摩地域で受皿となるような事業が出来ないかを念頭に置いて企画案の募集を行いました。しかし、複数市町村にまたがる取り組み案件はなかなか出てこないということで、当フォーラムで何かいい案はないかとの打診があり、公募事業に立候補しました。まず、多摩川全体で楽しむのであれば、カヌーが良いのではないかと思ったのですが、多摩川には堰が8つもあり、その堰が邪魔して、カヌーのようなスポーツ大会は出来ないというのが定説でした。しかし、私どもでは堰を逆手に取り、堰を駅伝の中継所にするので、上流から下流までのカヌー駅伝大会を開催できるのではないかと考えました。いきなり上流から下流まで範囲にすることは出来ないので、まずは上流の青梅から中流の昭島までを範囲とし、4つの堰(小作取水堰、羽村取水堰、昭和用水堰、日野用水堰)を使ったモデル事業にしようと考えました。駅伝の戦い方ですが、6市(青梅市、羽村市、福生市、昭島市、あきる野市、八王子市)が駅伝の範囲に入るので、これら6市の対抗戦でカヌーレースを行うこととしました。幸い、この企画案が採択され、改めて東京都で9月に実施事業者の公募を行いましたところ、フォーラムのメンバーでもあるJTBさんが落札され、実施に向けて着手しているところです。このモデル事業には2つの事業があります。一つは「多摩川カヌー駅伝大会」ですが、もう一つは「モニター・バスツアー」です。多摩川の堰には、これまで多摩地域を活性化させてきた歴史があり、古くは室町時代から地域の畑や水田を潤してきました。いま産業遺産に関心が高まっているので、単にカヌー駅伝を開催するだけではなく、モニター・バスツアーを実施します。カヌー駅伝を見学しながら、堰の文化を学び、奥多摩に1泊した後、平野副会長による「多摩の物語」の語り会を鑑賞し、昼食後には「多摩川酒蔵街道」の酒蔵を見学していただくという旅行商品を造成します。当初は、高尾山が一人勝ちの中、なんとか御岳山にもスポットを当てたいと思い、武蔵御嶽神社で「多摩の物語」の語り会を開催し、御岳山の宿坊に宿泊していただく予定でしたが、19年ぶりにケーブルカーの巻上設備がリニューアルされ、1月中旬から3月末まで運行中止となるため、残念ながら御岳山にお客様をお連れすることが不可能となりました。いずれにしても、これをしっかりと形にして、皆様のご賛同が得られるようであれば、多摩川フォーラム設立10周年の記念事業として、多摩川フォーラムがカヌー駅伝を開催することも考えられるかなと思います。さらに、2020年に向けてコースを下流まで拡大し、1泊2日の大会にできるかもしれません。宿泊者がお金を落とすという意味では、地域の経済活性化に一役買うのではないかと考えています。

(18) 第2回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)【資料 16】

- ・【資料 16】をご覧ください。この秋のチラシになります。昨年秋に对外公表し、大きな反響がありました。今回はチラシを少しリニューアルしています。JR東日本八王子支社さんと連携し、チラシ2万枚のうち9千枚を、八王子支社管轄の32の駅に設置してもらいました。また、大多摩観光連盟さんが発行する大多摩四季報にも見開きで広告を掲載していただきました。大多摩観光連盟さん、大変有り難うございました。はとバスさんでも商品化されました。こちらについては後ほど江沢運営委員からご説明いただきます。次のページはJRさんのお座敷列車ですが、今年6月に開催され、120名が参加されました。お座敷列車の中で多摩の地酒5種飲み比べができるというのが非常にうけたそうです。また、「青梅・五日市線の旅」パンフレットの中でも多摩川酒蔵街道が紹介されています。次ページは、お座敷列車の様子が掲載された新聞記事となっています。JR東日本八王子支社のご担当者によりますと、このような取り組みを通じ、西多摩地域の魅力を今後もどんどん発信していきたい、とのことでした。本件につきまして、はとバス定期観光部副部長の江沢運営委員より一言お願いいたします。

(江沢運営委員)

ただいまご紹介があった通り、パンフレットは全国に50万部配布され、日本全国のお客様にご乗車いただいております。「多摩川酒蔵街道」のツアーは昨年から販売を開始し、昨年は11本設定し、そのうち8回が催行され、のべ290人が参加されました。今年も11月から12月にかけて11本設定し、今のところ催行決定は6本、ご予約人数は250名となっていて、11月13日から運行を開始します。東京駅からバスを出発し、御岳山のケーブルカー、お昼は澤乃井のままごと屋さん、そして「多摩川酒蔵街道」の5つの新酒を飲み比べていただき、御嶽溪谷を散策し、あきる野の龍珠院で紅葉を楽しみ、最後に温泉を楽しむ、紅葉・日本酒・グルメ・温泉と4拍子揃った盛りだくさんのツアーとなっています。昨年に続いてリピーターの方もいらっしゃるようで、私ども、そしてお客様としても満足度の高い商品になっていると思います。

(20) 東急百貨店より第6回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/29)【資料 18】

- ・【資料4】と【資料 18】をご覧ください。平成27年9月29日、株式会社東急百貨店本社において、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部432,516円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに、贈呈式には、細野会長にご出席いただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(23) 「東北・桜サミット開催」に関する記者発表(10/5)、「東北・桜サミット」開催(10/27 山形県)【資料 20】

- ・【資料 20】をご覧ください。冒頭、細野会長からもお話がありましたが、10月27日(火)に、

来年が震災発生から5年になるということで、節目として桜サミットを開催しました。何故桜サミットを開催したのかと言いますと、去年の夏頃、「地方創生」の話が出てきて、縦割を排除し、異次元の施策を提案してほしいということで、内閣官房にご説明に上がったこともありますし、東北復興支援がさらに加速することを願って対応していたのですが、残念ながら、12月に内閣官房から「申請団体は自治体に限る」と公表があり、最大でも県単位の申請となり、我々がやっていた広域連携が出来なくなってしまう。それでは本来の地方創生の意味と違うのではないかと、我々も危機感を持ちまして、東北6県を巻き込んで、なんとか連携して大きな事業にしたいということで、「東北・桜サミット」を開催しました。サミットの内容ですが、「桜街道」については評価が高いのですが、「桜街道」は春のシーズンのみで、残りの3シーズンにも何か出来ないかというのが去年の協議会の総会での課題でした。そして考えたのが、秋の「東北酒蔵街道」です。「多摩川酒蔵街道」は成功していますが、それと並行し、東北についても「酒蔵街道」をやろうと考えました。最終的に80蔵が参加することになりました。その桜サミットの間を借りて、「東北酒蔵街道」を発表したということです。なぜ秋かということですが、新酒は秋から冬にかけてがシーズンですので、秋の定番商品にして、紅葉と温泉を絡めて巡っていただくことになります。せっかく桜サミットを開催するので、なかなか連携をしたがらない、保守的な東北6県をまとめたいと考え、他のシーズンに夏は「東北祭り街道」、冬は「東北雪見街道」とし、今後のひとつのテーマとして、方向性として「四季感動の東北往還道」という形で、サミットで議論していただきました。東北6県からは、副知事や観光の部長クラス、また観光庁からも幹部が参加され、コーディネーターを細野会長にお願いしました。結果として、方向性としては「四季感動の東北往還道」については、一粒で4つ美味しいと言いますか、外国人がひとつの季節に感動してもらえれば、他の季節もPRし、最大で4回訪れてもらえることとなり、日本の四季を東北で色濃く体験していただくということになりました。観光庁にもご賛同いただきました。「東北酒蔵街道」については、現在、富士通さんや酒蔵さんと協力して、無料アプリを開発しています。2月には、「旅ナビ」と「お酒のラベルコレクション」という2つのナビゲーションアプリが発表される予定です。また、本件に関しては、経産省から補助金が出ていて、今年はコンテンツ、来年はプロモーションで、2年連続で後押しをしていただける予定になっています。この桜サミットですが、水面下で色々と根回しをした結果、桜サミットの冒頭、サプライズで内閣総理大臣・安倍晋三様からのメッセージを紹介しました。祝電ではなく、和紙の色紙にメッセージが書かれており、直筆のサインと手作りの判子まで押していただき、観光庁を通じてサミット会場にお届けいただきました。そのメッセージを司会者が代読した際、会場がざわつきました。首相メッセージのとおり、こうした運動に対してご理解をいただいたということは、この運動に発展性があると感じられ、多少なりともお墨付きをいただけたのではないかと思います。協議会では、東北復興支援を10年続けると宣言していますので、来年が折り返し地点になりますが、今後は「東北往還道」に向けて仕上げていきたいと考えていま

す。

(24) 大田区より第8回・寄付金の贈呈(10/29)【資料 21】

- ・【資料 19】と【資料 21】をご覧ください。10月4日に開催された「RUN&WALK大会」には、大田区民有志をはじめ地元の中学生在が総勢70名参加し、大田区の丸子橋を一斉にスタートしました。フォーラム事務局も、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金202,546円は、10月29日に大田区長室において、大田区長より細野会長に贈呈されました。有り難うございました。

(25) 第7回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/7、11/14)【資料 22】

- ・【資料 22】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのポスターです。第1回目は5団体からスタートし、今年度は28団体が連携団体として名を連ねています。今回は、御岳登山鉄道株式会社様、東日本電信電話株式会社様、株式会社キャリア・맘様、富国生命保険相互会社立川支社様が新たに参加されます。

(27) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/5)【資料 23】

- ・【資料 23】をご覧ください。今年は、現在のところ、8組が確定しております。最終的には、10組を目標に、各参加団体と調整中です。

(28) 御岳・冬物語開催(12/11)【資料 24】

- ・【資料 24】をご覧ください。これは今年度の経済軸の冬の柱の事業として位置付け、御岳山において「多摩の物語」の語り会を実施するというものです。当初は平野副会長の日程確保が難しいことから、昨年度の部会や運営委員会で皆様から様々な意見をいただきました。今年度に入り、最終的に平野副会長の日程が確保されたことから、12月11日に、御岳山で「多摩の物語」の語り会を開催することとなりました。11月16日から受付を開始しますので、ぜひ足をお運びください。

(29) 森里川海シンポジウム in 羽村(12/11)【資料 25】

- ・【資料 25】をご覧ください。12月11日、羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」において、環境省主催の「森里川海シンポジウム」が開催され、基調講演には小倉副会長がご登壇されます。また、パネルディスカッションでは、当フォーラムからコーディネーター役として小倉副会長、パネリストとして、ダニエル・カール副会長が出席される予定です。本件につきまして、小倉副会長より一言お願いします。

(小倉副会長)

当フォーラムの活動を例として紹介し、森里川海流域全体として繋がりを考えていくという趣旨のシンポジウムです。それに参加させていただく予定です。

(事務局)

有り難うございました。以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。それでは第1号議案の「美しい多摩川フォーラム事務局・新設ポストへの選任等について(案)」ですが、事務局の方からご説明をお願いします。

4. 協議

(1) 第1号議案: 美しい多摩川フォーラム事務局・新設ポストへの選任等について(案)

(事務局)

【議案1】の2枚目をご覧ください。これは、本年5月の総会において承認されたものです。戻って1枚目をご覧ください。美しい多摩川フォーラム事務局・新設ポストへの選任等について、専務理事には、森田運営委員、常務理事には宮坂運営委員、これに伴い、事務局長には新たに私、及川を候補者としてご審議をお願いしたいと存じます。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

(事務局)

有り難うございました。ただいま、新役員一覧をお配りしておりますので、ご覧いただければと思います。なお、これまで副会長であった青梅信用金庫会長の森田運営委員が専務理事に選任されたことに伴い、青梅信用金庫理事長の平岡治房様が後任として就任されることになりましたので、ご報告いたします。新副会長におかれましては、本日は都合により欠席となっておりますが、よろしくお願い申し上げます。

(細野会長)

有り難うございました。それでは、新たにご就任された、森田専務理事、宮坂常務理事、及川事務局長から一言ご挨拶をお願いします。

(森田専務理事)

森田でございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

(宮坂常務理事)

宮坂です。どうぞよろしくお願いいたします。創立以来、8年になりますが、新たに及川事務局長にバトンタッチしますので、よろしくお願いいたします。

(及川事務局長)

及川です。これからも、皆さんと一緒にこのフォーラムが益々発展するように、一生懸命務めさせていただく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

(細野会長)

3名の方々からご挨拶がありました。多摩川フォーラムが新しい組織になってパワーアップするということです。それでは、その他について、事務局の方からご説明をお願いします。

(2)その他

(事務局)

先ほどの経過報告でお話しさせていただきましたとおり、今年も大田区長室において、多額の桜の植樹募金が当フォーラムに寄付されましたが、その際、たまりバー50キロRUN&WALK大会実行委員長で、元大田区議会議長の河津章夫様より、今回の桜植樹募金については、東北・夢の桜街道推進協議会を通じて、是非「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」実行委員会に寄付していただければ有り難いとお申し出がありました。皆さんもご承知の通り、東日本大震災により、福島県浜通りは甚大な被害を受けました。「桜の植樹を通じて、故郷復興のため、そして何よりこの地域に帰る子どもたちに希望のある明るい未来を残してあげたい」という同プロジェクトの趣旨に河津様をはじめ、大会関係者が感動され、松原大田区長様もご賛同されましたので、当フォーラムとしても、その趣旨を尊重してご承認をお願いしたいと存じます。

なお、具体的な手続きや進め方につきましては、事務局にご一任いただくということで、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

「東北・夢の桜街道」は当初88ヵ所でした。その後108ヵ所に増やしましたが、主に増やしたのは福島県です。そこをもう少し華やかにしたいということで、いただいた寄付金を、福島のほうに寄付したいということですが、いかがでしょうか。・・・(拍手)。有り難うございました。以上で、全ての協議事項が終了しました。それでは、事務局より、次の意見

交換の説明をお願いします。

5. 意見交換

(1) 美しい多摩川フォーラム・10周年(平成29年度)記念事業について (事務局)

美しい多摩川フォーラムでは、平成29年度に記念すべき10周年を迎えます。各部会では、①マイクロバスを借りて、酒蔵や温泉を巡る等の記念旅行を実施する、②何か記念に残るような、例えば桜の記念植樹を行う、③多摩川をアユが遡上できるような魚道を整備する、しかもアユの遡上を横から見えるように、ガラス張りの「見える魚道づくり」に取り組む等のご意見をいただいております。ぜひ皆様も、ご意見をよろしくお願いします。

(細野会長)

私もお酒が好きなので、酒蔵と聞くと顔が緩みます。せっかくの10周年ですから、多摩地域をなお一層元気にする事を考えると、皆さんの知恵を拝借して、かなり大々的にやりたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(堤運営委員)

地域経済活性化部会の副部会長を務めております。10周年まで2年ありますので、色々なことが出来ると思います。一番大切なのは、部会などでも意見が出てくるような基盤を我々運営委員が作っておくことではないかと、前置きとして申し上げておきます。私からは4つのご提案をさせていただきます。うちの会社でも色々なIT企業さんと一緒にお仕事をさせていただいておりますが、最近は大変多くの方がスマートフォンを愛用されています。ここに住んでいる私たちが多摩川を楽しむのもひとつですし、多摩川に初めてやってきた人たちがナビゲーション等のツールを活用できるようにするのが重要だと思います。「多摩川夢の桜街道」も、現在の88ヵ所からいずれ108ヵ所に広げるような時には、沢山の人が巻き込むことも大事だと思います。108ヵ所のマップ化は、沢山の人が参加しやすいと思います。4年ほど前、ソフトバンクで実施したのですが、障害者の方のバリアフリー公衆トイレの場所を、ボランティアの方が投稿できるシステムを開発しました。東北でも無料アプリを開発しているということですので、「多摩川夢の桜街道」も含めて、アプリケーションの連動も考えたかどうかと思います。その際、2つ目として、多言語対応も出来れば良いと思います。特にアジア言語対応は重要ではないかと思います。3つ目は、マップ化に関して、一般の方からの投稿が上手く進めば良いと思います。例えば会員の方から、新たな多摩川の魅力を写真で投稿出来るようにしたら良いと思います。写真コンテストが無くなってしまったので、10周年のみ単年度で復活しても良いかなと思います。4つ目ですが、多摩川フォーラムにはシンボルマークが特にありません。10周年の中で、シンボルマークを付けた商品を連携先に開発していただいたり、民間

事業者が相乗りできるようにして、シンボルマーク商品に関しては、ライセンスフィーを多摩川フォーラムに数%落としてもらえるようにし、多摩川フォーラムの活動があることを知ってもらい、商品を購入していただいて、民間の方でも多摩川を100年守ることに賛同してもらいたい、多摩川フォーラムにもお金が入ってくるようにできればと思います。

(細野会長)

有り難うございました。一般の人の声も大事にしたいということです。具体的な4つのアイデア、参考にさせていただきます。他にありませんか。

(澤田アドバイザー)

東京都の公認ガイドをしております。体験的な要素を盛り込んだ企画を考えたら良いのではないかと思います。多摩地区では今年、渋柿や柚子が豊作でした。干し柿作りやゆべし作りなど、体験的なイベントをやったほうが、お客さんの反応は良いと思います。来月、小澤酒造さんでゆべし作りを行います。

(細野会長)

有り難うございました。他にありますか。

(木村運営委員)

多摩川は、昔、いかだを組んで材木を六郷まで運んでいました。当時は、いかだ師さんが六郷にたどり着くと、竿を担いで上流まで4～5日かけて歩いて帰っていました。いかだ道が今も残っています。その道を多くの方たちと一緒に歩くなど、多摩川本来の姿を見ていただく良い機会になると思います。10周年は平成29年度ということですが、翌年30年度の10月頃には、全国育樹祭が予定されており、東京都が当番となります。場所は未定ですが、皇室の方々も参加される大変大きなイベントですので、その前哨戦という形の中で、多摩川のいかだ道を、下流から歩いていくというのも良いのではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。RUN&WALKと組み合わせると良いかも知れませんね。他にありますか。

(渡邊運営委員)

私は環境清流部会長をやっており、水質調査を担当しておりますが、採水場所が75カ所もあり、また、採水担当者が年毎に違う場合もありますので、いかに毎年同じ場所で採水できるようにするかが課題でした。そこで、採水場所を緯度経度できっちり特定

し、航空写真が非常に鮮明なGoogle マップを併用すれば、採水担当者はその地点を簡単にスマホで確認できるので、そういった活用をすれば、水質調査結果にブレが無くなります。これを、「多摩川夢の桜街道」のナビシステムにも応用できるのではないかと思いますので、来年から取り入れたらどうかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。最後に山崎さん、何かご意見はありませんか。

(山崎運営委員)

これだけ沢山の企業や行政、団体が加入していて、それぞれ色々な活動をされていると思いますので、「うちは多摩川のためにこういう事をやっている」という一覧表があると嬉しいです。うちでは、多摩川移動水族館、お魚ポスト、水辺の安全教育委員会などの活動をしておりませんが、そういった活動を会員全員が把握している訳ではないと思います。逆に、例えば渡邊部会長も青梅水辺の楽校で色々な活動をしていますが、皆がそれを知っている訳ではありません。「日の出町では多摩川に流れ込む平井川をこのようにきれいにしています」という発表をしていただいても良いですし、参加団体が何をしているか、会員同士が分かるようなものがあると良いのではないかと思います。会員同士が連携し、絆が生まれるようなものが10年目にふさわしいのではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。そろそろ時間ですので、思いついたら事務局にご一報をお願いします。

6. 総括・閉会

(小倉副会長)

本日は、大変中身の濃い、充実した様々な活動が紹介されました。また、平成29年度は10周年ということで、具体的で魅力あるご意見をいただくことが出来ました。これを実現するために、新たな検討が必要になるかと思いますが、今後に期待したいと思います。有り難うございました。

(森田専務理事)

今日は雨で足元が悪い中、運営委員会にご参加いただき、有り難うございました。また、今日は沢山の事業の報告がございましたが、運営委員の皆様をはじめ、沢山の皆様のご協力があって成り立っているということです。今日のご意見を沢山いただきましたので、10周年には何か記念に残るものをやりたいと思っております。私事で恐縮ですが、今年の6月21日に、青梅信用金庫の総代会とその後の役員会が開催され、平岡治房さんが、

第9代目の理事長として、私の後任を務めることになりました。このフォーラムが設立された当初から副会長として関わらせていただきましたが、副会長の座は平岡に譲ることとし、新たに事務局に専務理事というポストを新設してもらいました。どちらかというと細野会長にお願いして残れるようにしていただいたと言うべきですが、今後も新たなポストで多摩川フォーラムを通じて地域をもっともっと良くしていきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

有り難うございました。第2回目の運営委員会では、今まで出た案をまとめていただき、議論の材料にしてほしいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、平成27年度・第1回運営委員会を終了いたします。ご多用の中、本日は有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)